BUFFALO

デバイスサーバー

LDV-2UH

ユーザーズマニュアル

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 マーク 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ マーク 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

▶参照 マーク 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [　　] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
・本書では、原則として本製品を設定するパソコンを《設定用パソコン》と表記しています。

目　次

第 1 章

USB デバイスを使用する

■この章でおこなうこと

本製品に USB デバイスを接続して使用するには、デバイスサーバー設定ツールで接続処理を行う必要があります。

1.1 デバイスサーバー設定ツールで接続する

本製品に接続したUSBデバイスを使用する場合は、デバイスサーバー設定ツールを利用します。

1 デバイスサーバー設定ツールを起動します。
起動方法は、以下の 2 つの方法があります。

Windows をお使いの場合

a）タスクトレイのアイコン （ ） をクリックします。
b）スタートメニューの [（すべての） プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。

Macintosh をお使いの場合

a）Dock のアイコン （ ） をクリックします。
b）[Macintosh HD]-[アプリケーション]-[BUFFALO]-[Device Server]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。

2

USB デバイスを選択します。
※ 使用したい USB デバイスのステータス表示が のときに選択可能です。

接続ボタンをクリックします。

メモ
- USB デバイスのリストに、ご使用になりたいデバイスが表示されない場合は、更新ボタン( )をクリックしてください。
- セットアップ時に自動接続の設定をした場合はUSBデバイスが自動的に接続状態となります。
- 下記の操作を行うと、接続した USB デバイスおよびパソコンの動作が不安定になることがあります。その場合は、本製品および USB デバイス、パソコンを再起動してから再度操作を行ってください。
  → デバイスサーバー設定ツールにて、[接続中]に USB ケーブルまたは LAN ケーブルを抜く。
  → USB デバイスがアクセス中に、デバイスサーバー設定ツールの切断ボタン( )をクリックする。

3 OS のプラグアンドプレイ機能により、選択した USB デバイスが使用可能になるように設定されます。

※ USB デバイスのステータス表示が になっていれば、USB デバイスと接続できています。

USB デバイスのマニュアルを参照してご使用ください。

メモ
- 接続した USB デバイスを初めてご使用になる場合、USB デバイスに付属のソフトウェアのインストールが必要になることがあります。その場合は、USB デバイスに付属のマニュアルを参照してインストールしてください。
- 各 USB デバイスに対して一度に接続できるパソコンは 1 台のみです。もし他のパソコンで使用中の場合は、デバイスのステータス表示が となり使用することができません。
- デバイスサーバー設定ツールを右上の[×]で閉じるとUSBデバイスとの接続が切断されます。継続して使用する場合は、ウィンドウを最小化してください。

1.2 USB デバイスとの接続を切断する

接続している USB デバイスを使用しないときや、他のパソコンから使用したいときは、接続を切断できます。

USB デバイスがデータ転送などアクセス中は切断しないでください。切断する場合は、動作の停止を確認してデバイスサーバー設定ツールから切断してください。



1 選択 USB デバイスを選択します。

2 クリック 切断ボタンをクリックします。

※ USB デバイスを取り外す際、 OS の取り外し機能は使用せずに、 上記手順で取り外してください。 また USB デバイスへのアクセス中は取り外しをしないでください。 データが破損する恐れがあります。

1.3 接続時にアプリケーションを起動する

デバイスサーバー設定ツールでは、USB デバイスに接続すると自動で任意のアプリケーションを起動させることができます。USB デバイスに付属しているアプリケーションなどを登録しておくと、接続しただけでアプリケーションを起動させることができて便利です。

1

1 選択 設定したいUSBデバイスを選択します。

2 クリック プロパティボタンをクリックします。

2 プロパティダイアログが表示されたら、[オプション設定]タブをクリックします。

3

1 確認 [USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行う]にチェックを入れます。

2 クリック [参照]ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されますので、登録したいアプリケーションを指定します。

3 クリック [OK]をクリックします

以上で、アプリケーションの自動起動設定が有効になりました。

メモ 登録したアプリケーションを終了すると同時に、 USB デバイスとパソコンの接続も切断するように設定することができます。 設定するには、 ［アプリケーション終了時に自動的に切断する］ にチェックを入れます。

1.4 切断要求を使用する

使用したい USB デバイスを他のユーザーが使用中の場合、その USB デバイスの使用権を譲ってもらえるように要求（切断要求）することができます。

1

1 選択　設定したいUSBデバイスを選択します。

2 クリック　接続要求ボタンをクリックします。

2

切断要求した USB デバイスを使用しているユーザーのデスクトップに左記のメッセージウィンドウが表示されます。
[はい]を選択してもらえると、切断要求した USB デバイスが自分のパソコンで使用可能になります。

第2章 USB プリンターで印刷する

■この章でおこなうこと

本製品に USB プリンターを接続して印刷することができます。

プリンターのドライバーはあらかじめパソコンの USB コネクターにプリンターを接続してセットアップしてください。

セットアップ後に本製品に接続してお使いください。

※ デバイスサーバー設定ツールで接続してお使いください。

2.1 自動プリンター接続機能を使用する

本製品に接続したUSBデバイスにプリンター機能が搭載されている場合、使用する度にデバイスサーバー設定ツールで接続操作を行わなくても、アプリケーションで印刷を実行するだけで、［接続］→［印刷］→［切断］の処理を自動で行うことができます。

1

1 選択 設定したいプリンターを選択します。

2 クリック プロパティボタンをクリックします。

2 プロパティダイアログが表示されたら、［オプション設定］タブをクリックします。

3

1 確認 [自動接続を有効にする]にチェックを入れます。

2 確認 [印刷を行うときのみ自動的に接続を行う]にチェックを入れます。

3 クリック [OK]をクリックします。

メモ オプション設定画面の各設定項目については（P.49）をご参照ください。

以上で、自動プリンター接続機能が有効になりました。

メモ
- 接続したプリンターを初めてご使用になる場合、 プリンタードライバーのインストール画面になり、 インストールが完了すると上記画面に戻ります。
- ご使用になるプリンターによっては、 印刷完了時にプリンタードライバーに付属のプリンターステータス監視ツールがエラー表示になることがありますが、 印刷動作には影響ありませんので、 手動でプリンターステータス監視ツールを終了させてください。
- Windows　に標準搭載されているプリントサーバー機能を使って印刷したいときは、「デバイスサーバー設定ツールを使わずに印刷する」　（P.12）　をご参照ください。
  ※ Windows のプリントサーバー機能を使うと、 複数台のパソコンで同時に使用できます （双方向通信には対応していません）。

2.2 デバイスサーバー設定ツールを使わずに印刷する

デバイスサーバー設定ツールを使わずに従来の印刷プロトコル(NBT/LPR/IPP)を使って本製品に接続したプリンターから印刷することもできます。

※ 双方向通信には対応していません （インクの残量情報など取得や、 複合機などのスキャナ機能の使用はできません）。

2.2.1 プリンター情報の確認

■プリンターの IP アドレス確認

1 スタートメニューの [(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。
デバイスサーバー設定ツールが起動します。

2 左下の [プロパティ] ボタンをクリックする。

3 プロパティダイアログが表示されます。[全般] タブの IP アドレスをメモします。

■プリンターのキュー名の確認

1 スタートメニューの [(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。
デバイスサーバー設定ツールが起動します。

2 左下の [プロパティ] ボタンをクリックする。

3 プロパティダイアログが表示されます。[全般] タブの右下に位置する [デバイスサーバー情報] をクリックします。

4 Web 設定画面が表示されます。[ステータス表示]-[デバイスステータス] の順番に選択します。プリンター情報に表示されている [キュー名] をメモします。

■プリンターのパス確認

1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] を順に選択します。デバイスサーバー設定ツールが起動します。

2 右上の [表示の切替え] ボタンをクリックします。

3 表示のデバイスサーバー名をメモします。(例 :LDV080008)

4 プリンターのパス名はステップ３でメモした文字列と xxxx でメモしたキュー名で構成されます。
パス名の例：¥¥LDV080008¥lp_u2
“¥¥(デバイスサーバー名)¥(キュー名)”となります

■プリンターの IP アドレス手動設定手順

1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] を順に選択します。デバイスサーバー設定ツールが起動します。

2 IP アドレスを変更したいデバイスを選択します。左下の [プロパティ] ボタンをクリックする。

3 プロパティダイアログが表示されます。[全般] タブの右下に位置する [デバイスサーバー情報] をクリックします。

4 Web 設定画面が表示されます。[ネットワーク設定] を選択します。

5 ユーザー名・パスワードを入力します。

6 [DHCP/BOOTIP] から [DISABLE] を選択します。

7 IP アドレスとサブネットマスク（必要に応じてデフォルトゲートウェイ）を入力します。

8 [設定更新] をクリックします。

2.2.2　NBT プロトコルで印刷する

ここでは、「NBT（NetBIOS over TCP/IP）」プロトコルを使って印刷する方法を説明します。

この手順でおこなう設定は、双方向プリンターには対応していません。そのため、インク残量の確認や複合機などのスキャナー機能はお使いになれません。

■ TCP/IP プロトコルの設定をする

印刷をするパソコンすべてに、TCP/IP の設定をします。

お使いの Windows によって手順は異なります。該当する項目を参照してください。

Windows 7/Vista P.14

Windows XP P.15

《Windows 7/Vista の場合》

TCP/IP がインストールされていることを確認します。

1　［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2　［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3　画面左側の［アダプターの設定の管理］または［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4　［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します（無線 LAN アダプタを使用している場合は、［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします）。

5

1 確認　「インターネットプロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」が表示されていることを確認します。

続いて「■プリンターの設定をする」（P.16）へ進みます。

《Windows XP の場合》

TCP/IP がインストールされていることを確認します。

1 [スタート]－[コントロールパネル]を選択し、手順 2 へ進みます。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [ネットワーク接続]をクリックします。

4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します(無線 LAN アダプタを使用している場合は、[ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします)。

5

ローカル エリア接続のプロパティ
全般 認証 詳細設定
接続の方法:
SiS 900-Based PCI Fast Ethernet Adapter
構成(C)...
この接続は次の項目を使用します(O):
Microsoft ネットワーク用クライアント
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
QoS パケット スケジューラ
インターネット プロトコル (TCP/IP)
インストール(N)... 削除(U) プロパティ(R)
説明
コンピュータが Microsoft ネットワーク上のリソースにアクセスできます。
接続時に通知領域にインジケータを表示する(W)
OK キャンセル

1 確認 「インターネットプロトコル(TCP/IP)が表示されていることを確認します。

続いて「■プリンターの設定をする」(P.16)へ進みます。

■プリンターの設定をする

パソコンにプリンターの設定をします。印刷をするパソコンすべてに必要です。

1 プリンターのマニュアルを参照して、プリンターのドライバーをインストールします。

メモ
- ここでは、プリンターがパソコンのプリンターポート（LPT1）に接続されているもの（ローカルプリンター）として、プリンターのドライバーをインストールしてください。
- インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンターを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。

2 Windows 7/Vista の場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[デバイスとプリンターの表示]または[プリンタ]をクリックします。
Windows XP の場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタと FAX]を選択します。

3 インストールしたプリンターを右クリックし、[(プリンターの)プロパティ]を選択します。

4

1 クリック [ポート]をクリックします。

2 クリック [双方向サポートを有効にする]のチェックが付いているときは、チェックを外します。

3 クリック [ポートの追加]をクリックします。

5 [Local Port]を選択し、[新しいポート]をクリックします。

6

1. デバイスサーバーのパス名を入力します。
2. [OK]をクリックします。

メモ　デバイスサーバーのポート名は、P.12 でメモした文字列を入力します（入力例：¥¥LDV080008¥lp_u2）

メモ　画面に「プリンタに接続できませんでした。」と表示されたときは、入力した内容が間違っています。[OK]をクリックし、文字列を正確に入力し直してください。
正しい文字列を入力しても同じメッセージが表示されるときは、「2.2.3　LPR プロトコルで印刷する」（P.18）の方法で設定をやり直してください。

7　[閉じる]をクリックします。

8

1. 手順6で入力したパス名が登録され、チェックマークが付いていることを確認します。
2. [適用]をクリックします。

9　[全般]をクリックして、[テストページの印刷]をクリックします。

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

2.2.3　LPR プロトコルで印刷する

ここでは、TCP/IP ネットワークで動作する「LPR」プロトコルを使って印刷する方法を説明します。

この手順でおこなう設定は、双方向プリンターには対応していません。そのため、インク残量の確認や複合機などのスキャナー機能はお使いになれません。

■ TCP/IP プロトコルの設定をする

印刷をするパソコンすべてに、TCP/IP の設定をします。

お使いの Windows によって手順は異なります。該当する項目を参照してください。

Windows 7/Vista P.18

Windows XP P.19

《Windows 7/Vista の場合》

TCP/IP がインストールされていることを確認します。

1　［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2　［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3　画面左側の［アダプターの設定の管理］または［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4　［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します（無線子機を使用している場合は、［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします）。

5

1 確認　「インターネットプロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」が表示されていることを確認します。

続いて「■プリンターの設定をする」（P.20）へ進みます。

《Windows XP の場合》

TCP/IP がインストールされていることを確認します。

1 [スタート]－[コントロールパネル]を選択し、手順 2 へ進みます。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [ネットワーク接続]をクリックします。

4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します(無線子機を使用している場合は、[ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします)。

5 1 確認 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されていることを確認します。

続いて「■プリンターの設定をする」(P.20)へ進みます。

■プリンターの設定をする

パソコンにプリンターの設定をします。印刷をするパソコンすべてに必要です。

1 プリンターのマニュアルを参照して、プリンターのドライバーをインストールします。

メモ
- ここでは、プリンターがパソコンのプリンターポート(LPT1)に接続されているもの(ローカルプリンター)として、プリンターのドライバーをインストールしてください。
- インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンターを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。

2 Windows 7/Vista の場合は、[スタート]-[コントロール パネル]を選択し、[デバイスとプリンターの表示]または[プリンタ]をクリックします。
Windows XP の場合は、[スタート]-[コントロール パネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。

3 インストールしたプリンターを右クリックし、[(プリンターの)プロパティ]を選択します。

4

1 クリック [ポート]をクリックします。

2 クリック [双方向サポートを有効にする]のチェックが付いているときは、チェックを外します。

3 クリック [ポートの追加]をクリックします。

5 [Standard TCP/IP Port]を選択し、[新しいポート]をクリックします。

6 [次へ]をクリックします。

7

1 入力 デバイスサーバーのIPアドレスを入力します。

2 入力 デバイスサーバーのキュー名を入力します。

3 クリック [次へ]をクリックします。

メモ デバイスサーバーの IP アドレスとポート名は、P.12 でメモした文字列を入力します。[ポート名] に IP アドレスが自動入力されていますが、それを削除してからポート名を入力してください。

8 [カスタム]を選択して、[設定]をクリックします。

9

1 選択 [LPR]を選択します。

2 入力 デバイスサーバーのキュー名を入力します。

3 クリック [OK]をクリックします。

10 [次へ]をクリックします。

11 [完了]をクリックします。

12 [閉じる]をクリックします。

13

1 確認 手順 7 で入力したポート名が登録され、チェックが付いていることを確認します。

2 クリック [適用]をクリックします。

3 確認 [プリンタ]欄にプリンター名が表示されることを確認します。

14 **[全般]をクリックして、[テストページの印刷]をクリックします。**

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

2.2.4　IPP プロトコルで印刷する

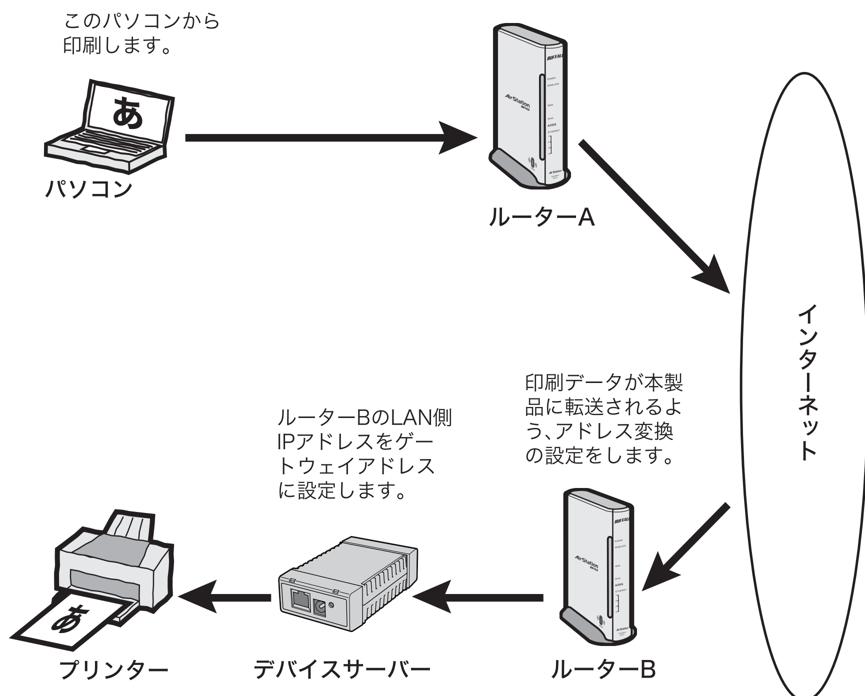
ここでは、IPP(Internet Printing Protocol) を使って印刷する方法を説明します。

この手順でおこなう設定は、双方向プリンターには対応していません。そのため、インク残量の確認や複合機などのスキャナー機能はお使いになれません。

■ IPP について

IPP(Internet Printing Protocol) とは、ネットワークを通じて、印刷データや印刷機器の制御を行なうプロトコルです。Web ブラウザーなどで使用する HTTP プロトコルを使用して、印刷データを送信するため、インターネットを通じて遠隔地のプリンターに印刷することができます。

IPP印刷の概要



⚠注意　※ IPP は、Windows 7/Vista/XP でのみサポートされています。

※ ネットワークにファイアウォールの設置されている場合、ファイアウォールの設定を変更する必要があります。

※ 上図のような構成の場合、ルーター側にアドレス変換の設定（静的 IP マスカレード設定）を行う必要があります。設定方法は、ルーターのマニュアルを参照してください。またグローバル IP アドレスを事前に確認しておく必要があります。

■デバイスサーバーの IP アドレスを設定する

印刷を行う前に「■プリンターの IP アドレス手動設定手順」(P.13)を参照してデバイスサーバーの IP アドレスを手動で設定します。

メモ
- 「自動設定」で IP アドレスを取得すると、IP アドレスが変更されることがあります。その場合、ネットワーク内のルータの設定も変更する必要があるため、IP アドレスは「手動設定」で固定することをお勧めします。
- IP アドレスの設定方法が分からない場合は、「IP アドレスの割り振りかたがわからない」(P.61)を参照してください。

続いて「■プリンターの設定をする」(P.25)に進みます。

■プリンターの設定をする

パソコンにプリンターの設定をします。プリンターの設定だけは、印刷をするパソコンすべてに必要です。

また、Windows のバージョンによって手順が異なります。該当する項目を参照し、設定してください。

Windows 7 . . . . P.25
Windows Vista P.28
Windows XP P.31

メモ　あらかじめデバイスサーバーとプリンターをUSBケーブルで接続し、電源を入れておいてください。

《Windows 7 の場合》

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

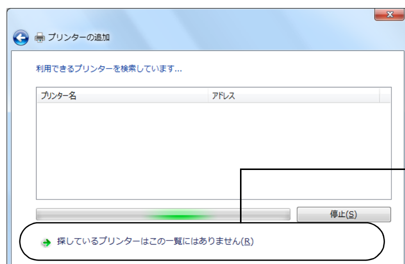
3

1 クリック　「プリンターの追加」をクリックします。

4

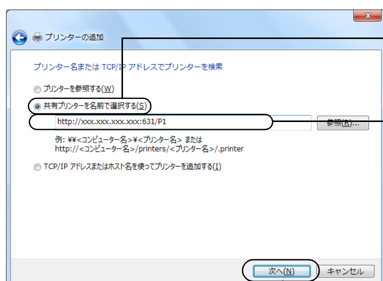
1 クリック　「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します」をクリックします。

5



1 クリック 「探しているプリンターはこの一覧にはありません」をクリックします。

6



1 選択 「共有プリンターを名前で選択する」を選択します。

2 入力 接続先のルーターのグローバルIPアドレスを以下の書式で入力します。

「http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/lp_u2」

（xxx.xxx.xxx.xxx は、接続先のルーターのグローバルIPアドレスです。

lp_u2 はキュー名です。P.12 で確認したキュー名を入力ください。）

3 クリック ［次へ］をクリックします。

7



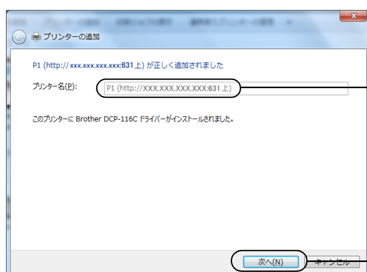
1 選択 お使いのプリンターの［製造元］と［プリンタ］を選択します。

2 クリック ［OK］をクリックします。



お使いのプリンターが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタードライバーをインストールしてください。

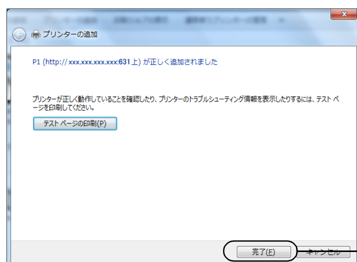
8



1 確認 インストールされたプリンター名を確認します。

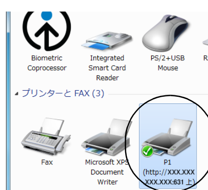
2 クリック ［次へ］をクリックします。

9



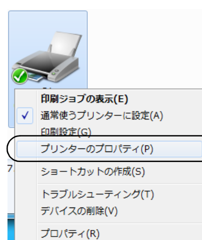
1 クリック ［完了］をクリックします。

10



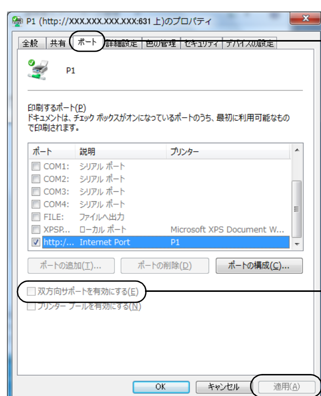
1 確認 追加したプリンターが表示されていることを確認します。

11



1 選択 追加したプリンターを右クリックして［プリンターのプロパティ］を選択します。

12



1 クリック ［ポート］をクリックします。

2 クリック 「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

3 クリック ［適用］をクリックします。

13 ［OK］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

《Windows Vista の場合》

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［プリンタ］をクリックします。

3

1クリック

「プリンタのインストール」をクリックします。

4

1クリック

「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

5

1クリック

「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

6

1 選択 「共有プリンタを名前で選択する」を選択します。

2 入力 接続先のルーターのグローバル IP アドレスを以下の書式で入力します。

「http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/lp_u2」

(xxx.xxx.xxx.xxx は、接続先のルーターのグローバルIPアドレスです。lp_u2 はキュー名です。P.12 で確認したキュー名を入力ください。)

3 クリック ［次へ］をクリックします。

7

1 選択 お使いのプリンターの［製造元］と［プリンタ］を選択します。

2 クリック ［OK］をクリックします。

メモ お使いのプリンターが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタードライバーをインストールしてください。

8

1 確認 インストールされたプリンター名を確認します。

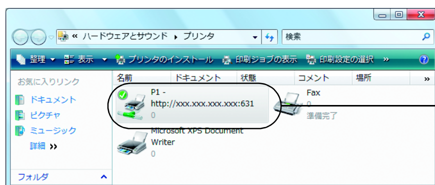
2 クリック 「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定します。

3 クリック ［次へ］をクリックします。

9

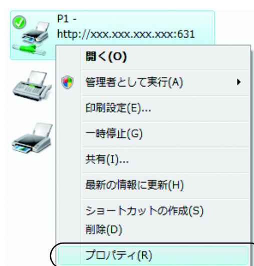
1 クリック ［完了］をクリックします。

10



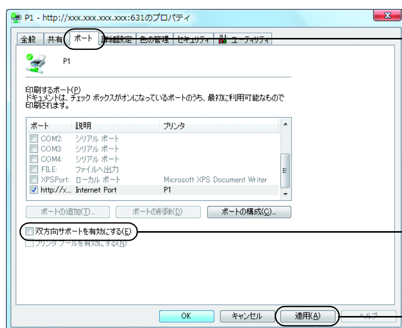
1 確認　追加したプリンターが表示されていることを確認します。

11



1 選択　追加したプリンターを右クリックして［プロパティ］を選

12



1 クリック　［ポート］をクリックします。

2 クリック　「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

3 クリック　［適用］をクリックします。

13　［OK］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

《WindowsXP の場合》

1 [スタート]－[プリンタと FAX]を選択します。

2

1 クリック 「プリンタのインストール」をクリックします。

3

1 クリック [次へ]をクリックします。

4

1 選択 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」をクリックします。

2 クリック [次へ]をクリックします。

5

1 選択 「インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択します。

2 入力 URL 欄に接続先のルーターのグローバルIPアドレスを以下の書式で入力します。

「http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/lp_u2」

(xxx.xxx.xxx.xxx は、接続先のルーターのグローバル IP アドレスです。lp_u2はキュー名です。P.12で確認したキュー名を入力ください。)

3 クリック [次へ]をクリックします。

6

1 選択 お使いのプリンターの[製造元]と[プリンタ]を選択します。

2 クリック [OK]をクリックします。

メモ お使いのプリンターが表示されない場合は、[ディスク使用] をクリックして、プリンタードライバーをインストールしてください。

7

1 選択 「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定します。

※この画面が表示されない場合は、手順 8 へ進んでください。

2 クリック [次へ]をクリックします。

8

1 クリック [完了]をクリックします。

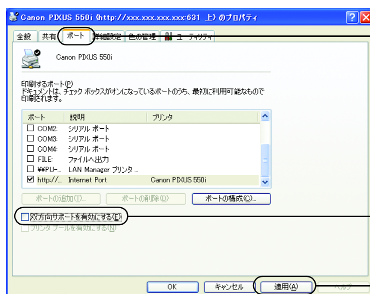
9

1 確認 追加したプリンターが表示されていることを確認します。

10

1 選択 追加したプリンターを右クリックして[プロパティ]を選択します。

11



1 クリック [ポート]をクリックします。

2 クリック 「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

3 クリック [適用]をクリックします。

12 [OK]をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

MEMO

第3章

Web 設定画面

■この章でおこなうこと

本製品のWeb設定画面では、詳細な設定を行うことができます。

3.1 Web 設定画面表示方法

本製品は Web サーバーを搭載しています。Web ブラウザーを使用して、本製品の設定を確認したり変更したりすることができます。

■ Web 設定画面の表示方法

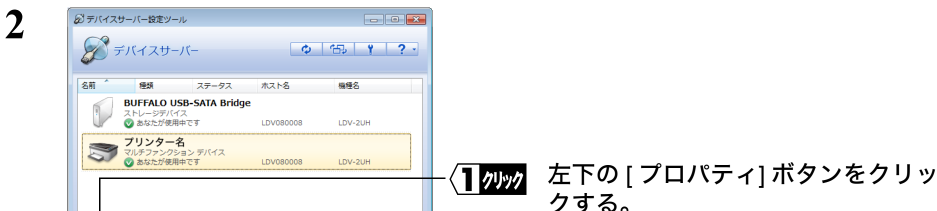
1 **Windows の場合**

スタートメニューの[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。
デバイスサーバー設定ツールが起動します。

Macintosh の場合

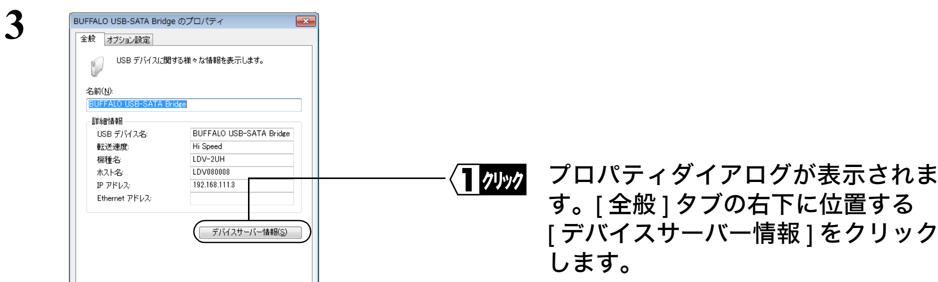
［Macintosh HD]-[アプリケーション]-[BUFFALO]-[Device Server]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。
デバイスサーバー設定ツールが起動します。

2



左下の [プロパティ] ボタンをクリックする。

3



プロパティダイアログが表示されます。[全般] タブの右下に位置する [デバイスサーバー情報] をクリックします。

4 Web 設定画面が表示されます。

メモ　各設定項目については、「デバイスサーバー設定ツール」(P.43)を参照してください。

Web 設定画面のパスワードについて

本製品の Web 設定画面「ネットワーク設定」「メンテナンス情報」を表示するには、パスワードの入力が必要です。
初期設定では下記のユーザー名、パスワードが設定されています。

ユーザー名：root　ユーザー名を変更することはできません。
パスワード：初期設定はパスワードは設定されていません。

パスワードは Web 設定画面「メンテナンス情報」内にある [管理者パスワード設定] で変更することができます。

3.2 Web 設定画面項目一覧

項目名				説明
ステータス表示	デバイスステータス	USB デバイス情報	デバイス名	本製品に接続されている USB デバイスから取得できるデバイス名を表示します。 デバイス名が取得できない USB デバイスは ProductID(PID[0xXXXX]) を表示します。"
			ベンダ名	本製品に接続されている USB デバイスから取得できるベンダ名を表示します。 ベンダ名が取得できない USB デバイスは VendorID(VID[0xXXXX]) を表示します。
			転送速度	本製品に接続されている USB デバイスのバス転送速度を表示します。(Hi-Speed, Full Speed, Low Speed)
			接続ホスト	本製品に接続されている USB デバイスを使用しているパソコン (ホスト) の IP アドレスを表示します。パソコンが接続していない場合は『Not Connected』と表示されます。
			接続時間	パソコンが USB デバイスに接続してからの経過時間を表します。
		プリンタ情報	プリンタ名	本製品に接続されているプリンタデバイスから取得できるデバイス名を表示します。 デバイス名が取得できない USB デバイスは ProductID(PID[0xXXXX]) を表示します。
			Raw ポート番号	このプリンターに Raw モード印刷する際の出力先 TCP ポート番号を表示します。
			キュー名	このプリンターに LPR 印刷する際の出力先キュー名を表示します
			IPP 出力先 URL	このプリンターに IPP 印刷する際の出力先 URL を表示します。
	システムステータス		ホスト名	本製品で現在使用されているホスト名を表示します。
			IP アドレス	本製品で現在使用されている IP アドレスを表示します
			サブネットマスク	本製品で現在使用されているサブネットマスクを表示します。
			デフォルトゲートウェイ	本製品で現在使用されているゲートウェイを表示します。
			DHCP Server	本製品が DHCP/BOOTP から IP アドレスを取得しているとき、DHCP/BOOTP サーバの IP アドレスが表示されます。
			Lease Time(sec.)	本製品が DHCP サーバから IP アドレスを取得しているとき、Lease Time(IP アドレスの有効時間) が表示されます。
			mDNS サービス名	本製品で現在使用されている mDNS サービス名を表示します。
			mDNS ドメイン名	本製品で現在使用されている mDNS ドメイン名を表示します。
			LAN インターフェース	本製品における現在のリンク状態を表示します。
			プライマリ WINS サーバ	本製品で現在使用されている WINS サーバ (プライマリ) のアドレスを表示します。
			セカンダリ WINS サーバ	本製品で現在使用されている WINS サーバ (セカンダリ) のアドレスを表示します。
			NetBIOS スコープ ID	本製品で現在使用されているスコープ ID を表示します。

項目名				説明
ネットワーク設定	ネットワーク設定	ホスト名		本製品のホスト名を設定します。ここで設定した名称が WINS、Utility などで本製品の名称として使用されます。他の機器と重複しない名前を設定してください。
		DHCP/ BOOTP	ENABLE/ DISABLE	製品の起動時にDHCP/BOOTPサーバからIPアドレスを取得する機能の使用の有無を指定します。 (ENABLE: 使用する DISABLE: 使用しない) 本製品のIPアドレスをDHCP/BOOTPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定された DHCP ないしは BOOTP サーバが稼動していなければなりません。本製品は DHCP と BOOTP を自動認識し、先に応答のあった IP アドレスを自分のアドレスとして採用します。
		IP アドレス		本製品の IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数 4 桁で 「x x x.x x x.x x x.x x x」の形式で設定します。
		サブネットマスク		本製品のサブネットマスクを設定します。設定値は、10 進数 4 桁で 「x x x.x x x.x x x.x x x」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。
		デフォルトゲートウェイ		本製品のゲートウェイの IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数 4 桁で 「x x x.x x x.x x x.x x x」の形式で設定します。ゲートウェイは本製品と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。
		Network PnP	ENABLE/ DISABLE	Network PnP 機能の使用有無を指定します。 (ENABLE: 使用する DISABLE: 使用しない)
		mDNS	ENABLE/ DISABLE	mDNS 機能 (Apple の Bonjour 機能) の使用有無を指定します。 (ENABLE: 使用する DISABLE: 使用しない)
		mDNS サービス名		本製品の mDNS サービス名を設定します。ここで設定した名称は、Apple の Bonjour 機能を使用してネットワーク検索した際の表示名称として使用されます。他の機器と重複しない名称を割り当ててください。

ネットワーク設定	ネットワーク設定	LAN インターフェース	AUTO/MANUAL	物理ネットワークの種別を設定します。通常は AUTO のまま使用してください。本製品の電源を投入した時に、本製品と接続した HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、接続 HUB のネットワーク種別に合わせてこの設定値を変更します。
		プライマリ WINS サーバ		WINS サーバ（プライマリ）のアドレスを設定します。WINS サーバはホスト名を IP アドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP で通信する際に IP アドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10 進数 4 桁で「ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ」の形式で設定します。
		セカンダリ WINS サーバ		WINS サーバ（セカンダリ）のアドレスを設定します。WINS サーバはホスト名を IP アドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP で通信する際に IP アドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10 進数 4 桁で「ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ」の形式で設定します。
		NetBIOS スコープ ID		スコープ ID は登録されたホスト名を認識するコンピューターのグループを定義します。同じスコープ ID をもつ機器は 相互に認識が可能となります。
	セキュリティ設定	IP フィルタ動作モード	DENY/ALLOW	本製品へのアクセスを IP アドレスにより制限できます。設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受けとりません。
		フィルタ #0-#3	開始アドレス	IP フィルタの先頭アドレスを設定します。設定値は、10 進数 4 桁で「ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ」の形式で設定します。
			終了アドレス	IP フィルタの終了アドレスを設定します。設定値は、10 進数 4 桁で「ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ.ｘｘｘ」の形式で設定します。

項目名			説明
メンテナンス情報	システム情報	MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
		ファームフェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
		URL	ダウンロードサービスの Web サイトでは、本製品の最新ファームウェアファイルを入手できます。
	管理者パスワード設定	新しいパスワード	本製品の管理パスワードを ASCII 文字列 (7 文字以内) で設定します。このパスワードは Web ブラウザで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。
		新しいパスワード確認	入力パスワードの確認に使用します。
	リセット	再起動	実行ボタンをクリックすると、本製品を再起動します。
		工場出荷時設定	実行ボタンをクリックすると、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻して、本製品を再起動します。
	ログ情報	時間	本製品に接続されている USB デバイスに、ホストから接続または切断を行ったときの時間を表示します。表示する時間は本製品が起動してからの経過時間となります。
		動作	ホストが行った動作を表示します。(接続 / 切断・その他エラーなど)
		デバイス名	使用されたデバイス名を表示します。
		接続ソフト	デバイスを使用したホストの IP アドレスを表示します。
	アップデート	ファームウェアファイル	ファームウェアをアップデートすることが出来ます。更新するファームウェアファイルのパスを指定して下さい。

メモ　設定を変更した後に必ず [設定更新] をクリックしてください。また、一度入力した設定をキャンセルするときは [初期設定に戻す] をクリックしてください。

MEMO

第４章 デバイスサーバー設定ツール

■この章でおこなうこと

ここではデバイスサーバー設定ツールの起動方法､オプション画面について説明しています。

4.1 デバイスサーバー設定ツール起動方法

デバイスサーバー設定ツールを使用して、本製品の設定を確認したり変更したりすることができます。

■ Web 設定画面の表示方法

《Windows の場合》

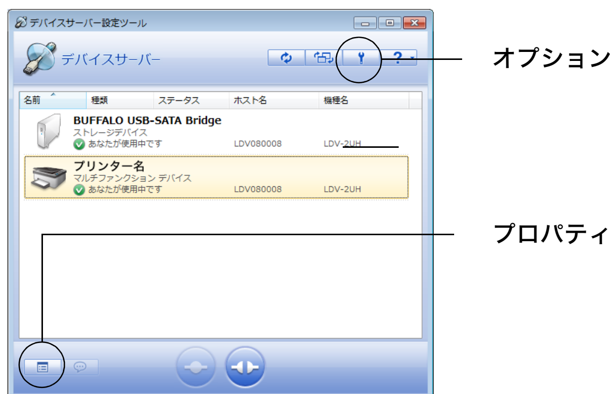
スタートメニューの [(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[デバイスサーバー]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。
デバイスサーバー設定ツールが起動します。

《Macintosh の場合》

[Macintosh HD]-[アプリケーション]-[BUFFALO]-[Device Server]-[デバイスサーバー設定ツール] をクリックします。
デバイスサーバー設定ツールが起動します。

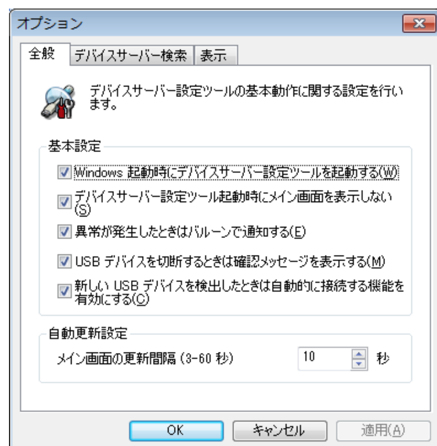
■オプション・プロパティ画面の表示方法

デバイスサーバー設定ツールの画面で、 オプションボタンまたはプロパティーボタンをクリックします。



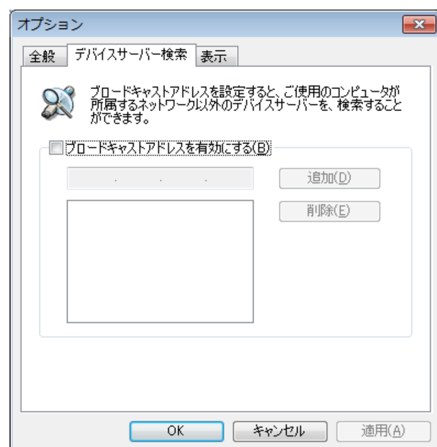
4.2 オプション画面

全般



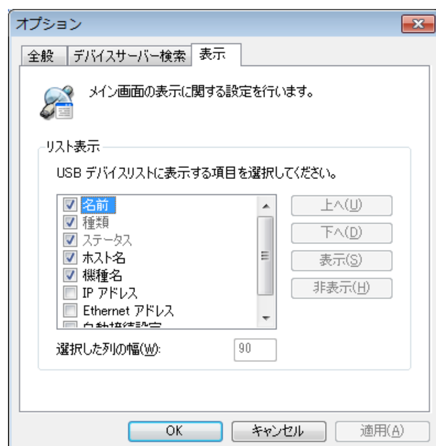
項目名		説明
基本設定	Windows 起動時にデバイスサーバー設定ツールを起動する	Windows 起動時にデバイスサーバー設定ツールを起動します。
	デバイスサーバー設定ツール起動時にメイン画面を表示しない	デバイスサーバー設定ツール起動時は最小化して起動します。
	異常が発生したときはバルーンで通知する	デバイスサーバーで過電流が発生したときや接続中の USB デバイスに対して不正な切断が行われたときにユーザーにバルーンヘルプで通知します。
	USB デバイスを切断するときは確認メッセージを表示する	USB デバイスを切断するときに切断の確認メッセージを表示します。ただし、アプリケーションや自動プリンター機能、切断要求画面からの切断時は表示されません。
	新しい USB デバイスを検出したときは自動的に接続する機能を有効にする	新規に USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行います。
自動更新設定	メイン画面の更新間隔	USB デバイスリストを最新情報に更新する間隔を 3 ～ 60 秒の範囲で設定します。

デバイスサーバー検索



項目名	説明
ブロードキャストアドレスを有効にする	本項目を有効にする必要はありません (本機能はサポートしておりません)。

表示



項目名	説明
リスト表示	USB デバイスリストに表示させる項目の表示 / 非表示、表示順序を設定します。チェックマークを表示させた項目が表示されます。[上へ][下へ] で選択順序を変更できます。

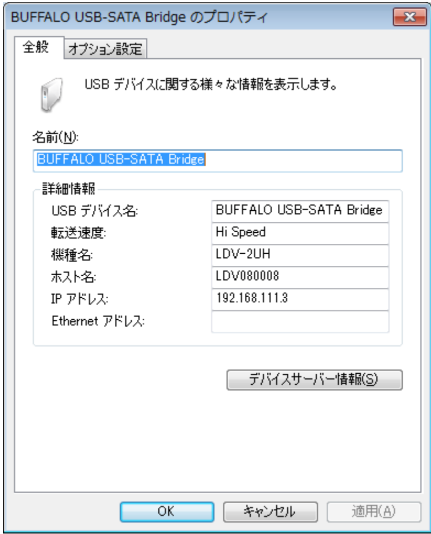
4.3 プロパティー画面

■プリンターのプロパティー

項目名			説明
プロパティ	全般	名前	USB デバイスリストに表示するUSBデバイスの名前です。既定値はデバイスサーバが認識している USB デバイス名となります。この名前は半角英数字で 64 文字まで入力することができます。
		USB デバイス名	デバイスサーバが認識しているデバイス名です。
		転送速度	USB デバイスの転送速度です。
		機種名	デバイスサーバの機種名です。
		ホスト名	デバイスサーバのホスト名です。
		IP アドレス	デバイスサーバの IP アドレスです。
		Ethernet アドレス	デバイスサーバの Ethernet アドレスです。
		デバイスサーバー情報	USB デバイスを接続しているデバイスサーバーの Web ページを表示します。クリックすると Web ブラウザーが起動します。

プロパティ	オプション設定	自動接続設定	自動接続を有効にする	**USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行う：** デバイスサーバー設定ツールが、この USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行います。 **USB デバイスの自動接続は行わない :** デバイスサーバー設定ツールがこの USB デバイスを検出しても自動的に接続は行いません。 **印刷を行うときのみ自動的に接続を行う：** 監視しているプリンターオブジェクトに印刷ジョブがスプールされると自動的に接続し、印刷ジョブが削除されると自動的に切断します。 **設定ボタン：** USB デバイスの接続を行い、自動プリンター印刷機能を有効にするための初期設定を行います。 **確認ボタン：** 自動プリンター印刷機能が監視しているプリンターオブジェクトを表示します。 **接続中に異常が発生したときは自動的に再接続を行う：** 接続中に不正な切断が発生し、接続状態が解除されたとき、次回 USB デバイスが検出され、未接続状態の場合に自動的に接続を行います。
		接続時に指定アプリケーションを起動する		接続時に指定したアプリケーションを起動します。 **アプリケーション終了時に自動的に切断する：** 指定したアプリケーションが終了したときに自動的に切断を行います。 **参照ボタン：** フォルダーを開いてアプリケーションを指定します。

■ USB 機器のプロパティ



項目名			説明
プロパティ	全般	名前	USB デバイスリストに表示するUSBデバイスの名前です。既定値はデバイスサーバが認識している USB デバイス名となります。この名前は半角英数字で 64 文字まで入力することができます。
		USB デバイス名	デバイスサーバが認識しているデバイス名です。
		転送速度	USB デバイスの転送速度です。
		機種名	デバイスサーバの機種名です。
		ホスト名	デバイスサーバのホスト名です。
		IP アドレス	デバイスサーバの IP アドレスです。
		Ethernet アドレス	USB デバイスを接続しているデバイスサーバーの Web ページを表示します。クリックすると Web ブラウザーが起動します。
		デバイスサーバー情報	USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行う：デバイスサーバー設定ツールが、USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行います。 **接続中に異常が発生したときは自動的に再接続を行う：** 接続中に不正な切断が発生し、接続状態が解除されたとき、次回 USB デバイスが検出され、未接続状態の場合に自動的に接続を行います。

プロパティ	オプション設定	自動接続設定	**USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行う：** デバイスサーバー設定ツールが、USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行います。 **接続中に異常が発生したときは自動的に再接続を行う：** 接続中に不正な切断が発生し、接続状態が解除されたとき、次回 USB デバイスが検出され、未接続状態の場合に自動的に接続を行います。
		接続時に指定アプリケーションを起動する	接続時に指定したアプリケーションを起動します。 **アプリケーション終了時に自動的に切断する：** 指定したアプリケーションが終了したときに自動的に切断を行います。 **参照ボタン：** フォルダーを開いてアプリケーションを指定します。

メモ　Web ブラウザーで設定するときは、設定を変更した後に必ず[設定]をクリックしてください。

MEMO

第5章 制限事項

■この章でおこなうこと

ここでは本製品の制限事項を記載しています。最新の情報は弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

5.1 制限事項

5.1 制限事項

■ USB ハブは 1 台だけ接続できます。

■ 複数の USB デバイスを接続している場合、Windows 終了時にデバイスサーバー設定ツールを終了できずにエラーメッセージが表示されることがあります。
これは USB デバイスの切断処理に時間がかかるためで、そのまま待っていることで正常に Windows は終了します。
上記現象を回避するためには、 Windows を終了する前にデバイスサーバー設定ツールを終了してください。

■ パソコンが省電力モードから復帰したときは、 再度デバイスサーバー設定ツールで使いたい UBS デバイスに接続してください。省電力モードから復帰した場合自動で再接続しません。

■ telnet での操作 ・ 設定はサポートしていません。

■ Web 設定画面の設定項目はブラウザーのキャッシュにより画面を移動しても戻ると表示が保持されています。 設定を反映するには ［設定更新］ をクリックしてください。

■ Windows に搭載されている IPP プロトコルスタックには、 通信タイムアウト時間が 30 秒に設定され、 インクや用紙交換、 他のパソコンからのプリンタージョブと競合などによって、 該当ジョブが異常終了してしまうことがあります。
IPP プロトコルとして利用する場合は、 次のことをにご注意ください。

- 他のプリンタージョブが大きなデータを印刷しているときは、 新しい印刷を控える。
- 大きなプリンタージョブを転送するときは、 用紙・インクが十分に残っていることを確認する。 詳細についてはマイクロソフト社のホームページ（http://support.microsoft.com/kb/945717/ja/） をご参照ください。

■ 本製品に接続した USB 機器へのアクセス中に切断／取り外しを行わないでください。データが破損する恐れがあります。 USB 機器のランプ等でアクセスしていないことを確認してから切断／取り外しを行ってください。

■ **本製品を初期設定するとき、 および初期化した後に設定するときは**

DHCP サーバーが設置されているネットワークに本製品を取り付けてください。

※ 本製品を接続したネットワークに DHCP サーバーが無い場合は、 次のように自 動設定されます。

IP アドレス　： 169.254.xxx.xxx　(xxx は本製品起動時に任意の数値が 割り当てられます。)

ネットマスク ： 255.255.0.0

■ **USB デバイスを検出したときに自動的に接続を行う設定にしても、 接続が行われないことがあります。 このようなときは、 手動で接続してください。**

MEMO

第6章

困ったときは

■この章でおこなうこと

ここでは困ったときの原因と対策を記載しています。最新の情報は弊社ホームページ(buffalo.jp) をご参照ください。

6.1 本製品 / パソコンの設定ができない

USB ハブに接続した USB デバイスが動作しない

原因： USB ハブへの接続に対応していない USB デバイスを接続した。

対策： 本製品の USB ポートに直接接続してください。

デバイスサーバー設定ツールで検索しても、本製品が検出されない（TCP/IP プロトコルはインストール済み）

原因①： TCP/IP プロトコルの設定が正常に機能していません。

対策①： TCP/IP が複数のアダプターにバインドされている（関連付けられている）場合、TCP/IP の設定が正常に機能しないことがあります。現在使用している LAN アダプターだけに TCP/IP をバインドした状態で、本製品を再検索してください。

原因②： 本製品にパソコンと通信できない IP アドレスを手動設定した。

対策②： 本製品を初期化して IP アドレスを設定し直してください。それでも検出されないときは、パソコンの IP アドレスを本製品と通信可能な IP アドレスに変更してください。

原因③： Windows または Mac OS X のファイアウォールが設定されている

対策③： ファイアウォールの設定によっては、本製品が検出されないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効に設定するか、ファイアウォールの設定を緩和してください。
設定手順については、Windows または Mac OS X のヘルプをご参照ください。
本製品の設定が完了したら、ファイアウォールを有効にしてください。

原因④： ファイアウォール機能をもつソフトウェアがインストールされている。

対策④: ファイアウォールの機能をもつ常駐ソフトウェアを使用している場合、本製品が検出されないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効に設定するか、ソフトウェアをアンインストールしてください。設定方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

■例 1：ウイルスバスター2010 の場合

「パーソナルファイアウォール機能」は、以下の手順で無効にできます。

⚠注意 **「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。**

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[ウイルスバスター2010]－[ウイルスバスター2010 を起動]を選択します。

2 メイン画面左側の[パーソナルファイアウォール]をクリックします。



3 「パーソナルファイアウォール」欄にある[有効]をクリックします。



4 ファイアウォール機能が「無効」に切り替わったことを確認し、画面右上の[×]をクリックします。

以上で設定は完了です。

メモ ファイアウォール機能を再度有効にするには、上記の手順 3 で有効に切り替えてください。

■例 2：Norton Internet Security 2010 の場合

「パーソナルファイアウォール機能」は、以下の手順で無効にできます。

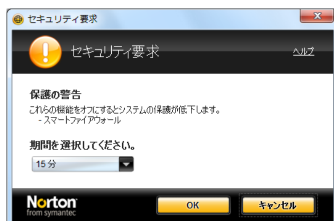
⚠注意 「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックします。

2 ネットワーク欄にある「スマートファイアウォール」の「オン」をクリックします。



3 スマートファイアウォールをオフにする期間(例：15 分)を選択し、[OK]をクリックします。



4 **「スマートファイアウォールがオフになりました」と表示されることを確認します。**

以上で操作は完了です。

メモ　ファイアウォール機能を再度有効にするには、上記の手順 3 で設定した時間が経過するまで待つか、手順 2 の画面で切り替えてください。

■例 3：ウイルスセキュリティの場合

「パーソナルファイアウォール機能」は、以下の手順で無効にできます。

⚠注意　「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 **タスクトレイの　アイコンを右クリックし、[設定とお知らせ]を選択します。**

2 **画面左の[不正侵入を防ぐ]をクリックします。**

3 **[完全に開放]をクリックします。**

4 **「ご確認」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。**

5 **画面右上の[×]をクリックし、画面を閉じます。**

以上で操作は完了です。

メモ　ファイアウォール機能を再度有効にするには、パソコンを再起動してください。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

対策：　以下を参考にして、IP アドレスを設定してください。

■ネットワーク上に DHCP サーバー※が存在する場合

IP アドレスの設定を、以下のように設定します。

Windows 7/Vista/XP：「IP アドレスを自動的に取得する」

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

パソコンに設定する IP アドレスを、ネットワーク管理者に確認してください。

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

パソコンの IP アドレスを、以下のように設定します。

（設定例）

	IP アドレス	ネットマスク
パソコン A	：192.168.11.1	（255.255.255.0）
パソコン B	：192.168.11.2	（255.255.255.0）
パソコン C	：192.168.11.3	（255.255.255.0）
パソコン D	：192.168.11.4	（255.255.255.0）
・		
パソコン X	：192.168.11.254	（255.255.255.0）

※ DHCP サーバーは、ネットワーク上のパソコンなどに IP アドレスを自動的に割り振るサーバーです。

パソコンの IP アドレスを確認したい

対策： パソコンの IP アドレスは、以下の手順で確認できます。

■ Windows 7/Vista/XP の場合

1 [スタート]－[（すべての）プログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を選択します。

2 「ipconfig」と入力して、[OK]をクリックします。

3 「IP address」欄に IP アドレスが表示されます。

メモ 「IP アドレス」欄に次の数値が表示されているときは、正しく IP アドレスが設定されていません。
•「0.0.0.0」
•「169.254.X.X」（X は 0 ～ 255 までの数字）

6.2 印刷できない

TCP/IP（LPR）プロトコルで印刷できない

対策：　TCP/IP　（LPR）プロトコルで印刷が正常にできないときは、以下の手順で設定を確認してください。。

■ **Windows 7/Vista/XP の場合**

①「プリンター情報の確認」（P.12）を参照して IP アドレス、ポート番号を確認します。

② 標準 TCP/IP ポートの確認をします

1 使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

2 [ポート]タブをクリックし、[Standard TCP/IP Port]にチェックを付けます。

3 [ポートの構成]をクリックします。

4 [標準 TCP/IP ポートモニタの構成]画面のポート名、プリンター名または IP アドレス、LPT 設定のキュー名を確認します。

③ パソコンの IP アドレスを確認します

1 [スタート]－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を選択します。

2 ipconfig /all と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。確認したパソコンの IP アドレスを確認します。

④ デバイスサーバーとの接続確認をおこなう（PING コマンドの実行）

記③の手順 2 に続いて、ping ＜デバイスサーバーの IP アドレス＞と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。
「Reply from（以下略）」と表示されたときは、正常に接続されています。
「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示されたときは、接続されていません。ケーブルや AC アダプターが正しく接続されているか確認してください（接続機器のランプなどを確認してください）。ケーブル類の接続に問題がない場合は、IP アドレスの設定を確認してください。

デバイスサーバー設定後、プリンタードライバーをインストールしたが、正常に印刷できない

原因①： デバイスサーバー設定ツールを使用しない設定でご利用いただく場合、双方向通信機能を使用した印刷方式には、対応していません。

対策①： 使用しているプリンターの双方向通信機能を無効にしてください。

メモ 以下の操作をしても印刷できるようにならない場合は、他にプリンター固有の双方向通信に関する設定がある可能性があります。そのときは、プリンターのマニュアルまたはプリンターメーカーにて、双方向通信を無効にする方法を確認してください。

■例：プリンターの双方向通信機能解除

《Windows 7/Vista/XP の場合》

1 [スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

2 使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、[(プリンターの)プロパティ]を選択します。

3 「ポート」タブをクリックして、[双方向サポートを有効にする]のチェックを外します。

原因②： プリンターの設定以外のことが原因で、正常に印刷できない場合があります。

対策②： 次のことを確認してください。

- 大きなファイルのコピーが正常にできるか、またファイルの共有が正常にできるか確認してください。
- プリンターとパソコン（プリンター本体が対応する OS が搭載されたもの）を直接 USB ケーブルで接続し、正常に印刷できるか確認してください。
- 最新のプリンタードライバーを使用して印刷してください。
- 最新の LAN アダプターのドライバーを使用して印刷してください。
- Windows パソコンの場合は、Microsoft のプリンター共有機能を使用して印刷してください。

DOS アプリケーションから印刷できない

原因：　本製品は、DOS アプリケーションからの印刷に対応していません（Windows の DOS プロンプトで動作する DOS アプリケーションからも印刷できません）。

デバイスサーバーをネットワークに 2 台以上取りつけたい

対策：　１台ずつネットワークに接続して、デバイスサーバーを設定してください。各デバイスサーバーに異なる IP アドレスを割り当てることに注意してください。

ネットワークの接続を確認したい(PING コマンド)

対策： PING コマンドを実行して、パソコンと本製品が正しく通信できることを確認できます。PING コマンドの使いかたは次のとおりです。

メモ PING コマンドを実行するには、TCP/IP プロトコルをインストールしておく必要があります。

1 コマンドプロンプト(MS-DOS プロンプト)を開きます。

メモ Windows 7/Vista/XP の場合は、[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [アクセサリ] ー [コマンドプロンプト] を選択します。

2 「>」の後に続けて、次のように PING コマンドを入力し、Enter キーを押します。

ping XXX.XXX.XXX.XXX

XXX は、本製品の IP アドレスです。

(例) 本製品の IP アドレスが 192.168.11.5 の場合

ping 192.168.11.5

3 正しく通信できている場合は、以下のように表示されます。

Windows 7/Vista の場合

```
192.168.11.5 に ping を送信しています 32 バイトのデータ：
192.168.11.5 からの応答： バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
192.168.11.5 からの応答： バイト数 =32 時間 <10ms TTL=128
192.168.11.5 からの応答： バイト数 =32 時間 =4ms TTL=128
192.168.11.5 からの応答： バイト数 =32 時間 <10ms TTL=128
```

Windows XP の場合

```
Pinging 192.168.11.5 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time=1ms TTL=64
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time<10ms TTL=64
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time=4ms TTL=64
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time<10ms TTL=64
```

通信できていない場合は、「Request timed out」(または「要求がタイムアウトしました」)や「Destination host unreachable」(または「ping: 転送に失敗しました」) などと表示されます。

PING コマンドを実行したときに「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示される

原因①： IP アドレスが正しく割り振られていません。

対策①： IP アドレスの設定を再確認してください。

「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P.61）を参照してください。

デバイスサーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得する場合は、IP アドレスの取得に 1 分程度かかる場合があります。

原因②： パソコンの TCP/IP プロトコルの設定が正しくありません。また、TCP/IP プロトコルがインストールされていません。

対策②： 「パソコンの IP アドレスを確認したい」（P.62）を参照して、IP アドレスが正常に設定されているか確認してください。

MEMO

第7章 付 録

■この章でおこなうこと

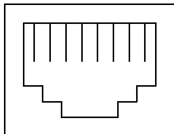
LAN ポート仕様について説明します。

7.1 モジュラーコネクター仕様

7.1 モジュラーコネクター仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクターを使用しています。

・MDI 信号の割り当て



○ 100BASE-TX/10BASE-T

ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+/RD+	送信データ (+)/ 受信データ (+)
2	TD-/RD-	送信データ (-)/ 受信データ (-)
3	RD+/TD+	受信データ (+)/ 送信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-/TD-	受信データ (-)/ 送信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

○ 1000BASE-T

ピン番号	信号名	信号機能
1	BI_DA+/BI_DB+	送受信データ A（+）/ 送受信データ B（+）
2	BI_DA-/BI_DB-	送受信データ A（-）/ 送受信データ B（-）
3	BI_DB+/BI_DA+	送受信データ B（+）/ 送受信データ A（+）
4	BI_DC+/BI_DD+	送受信データ C（+）/ 送受信データ D（+）
5	BI_DC-/BI_DD-	送受信データ C（-）/ 送受信データ D（-）
6	BI_DB-/BI_DA-	送受信データ B（-）/ 送受信データ A（-）
7	BI_DD+/BI_DC+	送受信データ D（+）/ 送受信データ C（+）
8	BI_DD-/BI_DC-	送受信データ D（-）/ 送受信データ C（-）

※ + と - は、 各ワイヤペアを構成するワイヤーの電気極性を表します。

※ AUTO-MDIX 機能により、 送信 / 受信データを自動的に切り替えます。

LDV-2UH ユーザーズマニュアル
2010 年 10 月 18 日 第 2 版発行
発行　株式会社バッファロー